産総研
ともに挑む。つぎを創る。

2025年度 産総研イノベーションスクール

大学院生向け「研究基礎力育成コース」

公募説明会

説明中はミュートにしてください。
ご質問のある方は説明終了後に手を挙げるか、チャットに記載してください

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーションスクール事務局　[school-saiyou-ml@aist.go.jp]

MISSION

社会課題の解決と
我が国の産業競争力強化

産総研の概要

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

■人員

12,000 名 が研究開発活動を実施

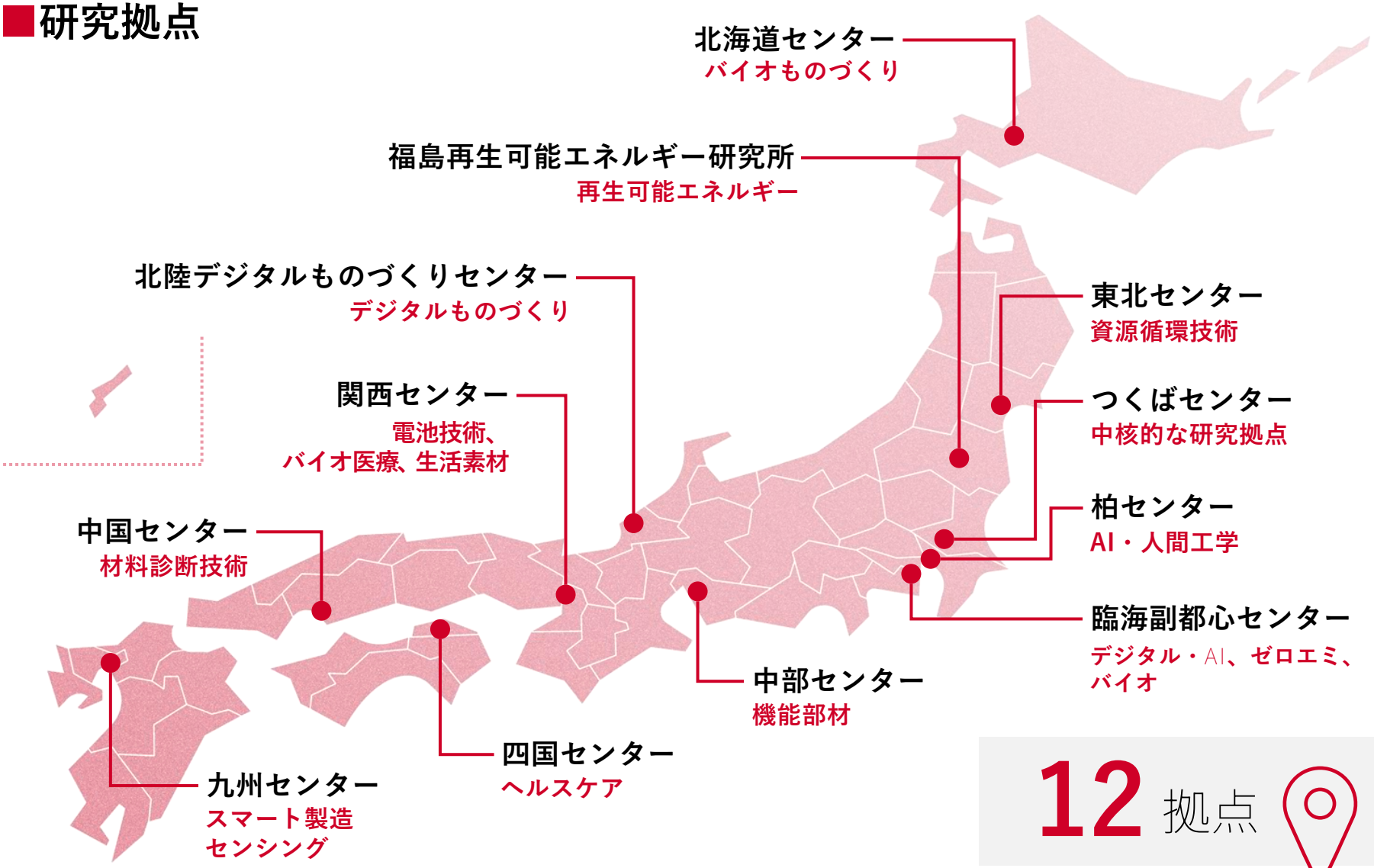
研究職	2,200 名
事務職	700 名
契約職員（ポスドク、テクニカルスタッフ等）	3,200 名
AIST Solutions社員	200 名
その他（産学官・国際制度来所者等）	5,800 名

※2024年３月末時点。ただし、企業・大学からの来所者等については2023年度の実績
※人員数は百人未満を四捨五入のため、合計が一致しないことがある

産総研の概要

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

研究拠点

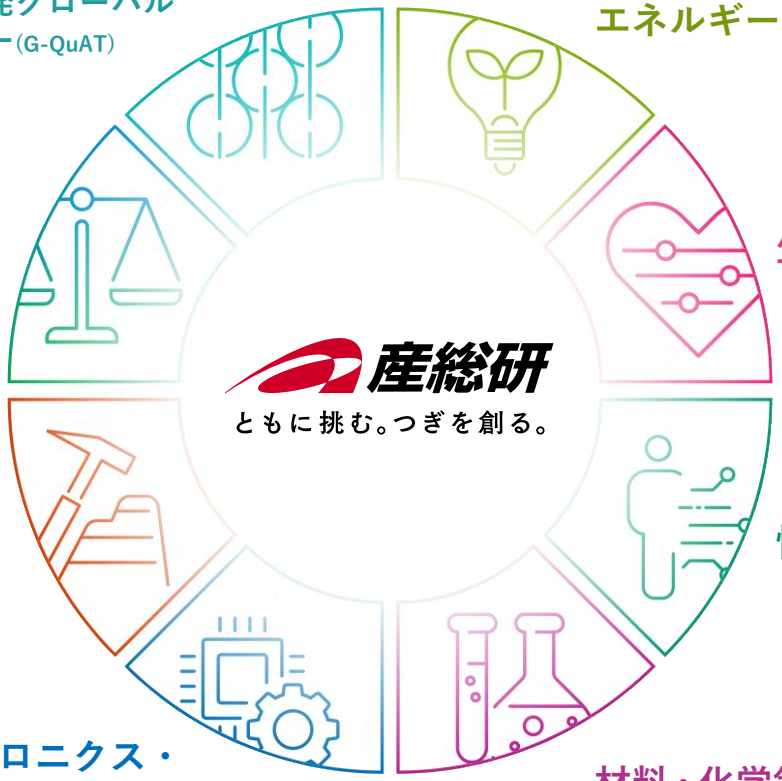


12 拠点

産総研の概要

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

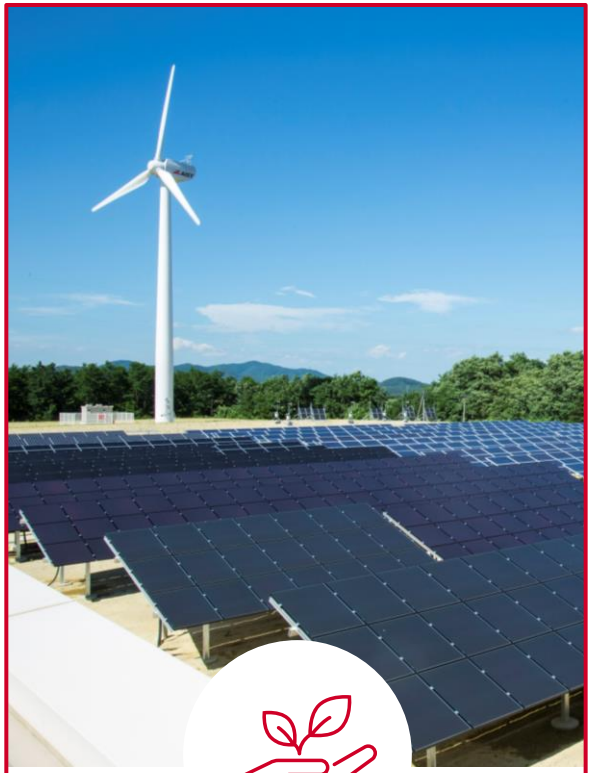
■研究組織



7 領域 ＋ G-QuAT にまたがる「広範な研究体制」

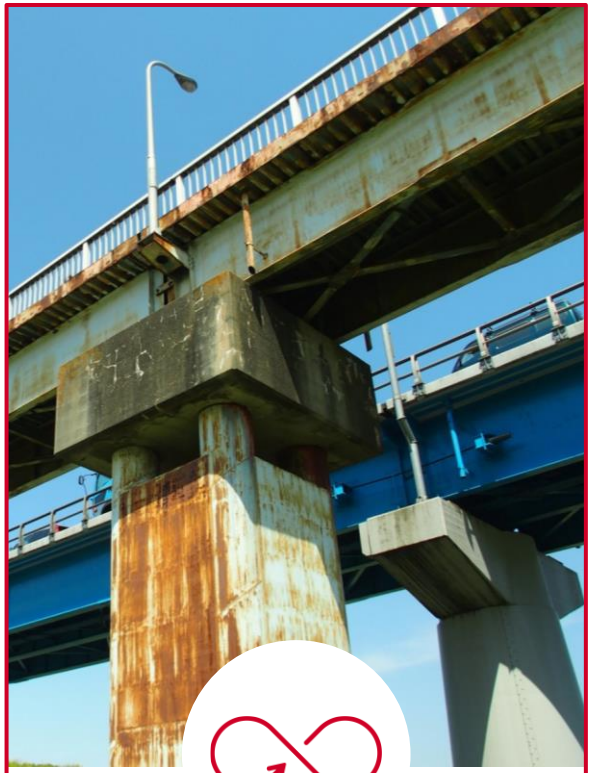
産総研が取り組む社会課題

産総研
ともに挑む。つぎを創る。



エネルギー・
環境・資源制約
への対応

人口減少・高齢化
社会への対応



レジリエントな
社会の実現

産総研イノベーションスクール

- **産総研の若手研究人材育成制度**（産業技術人材の育成：産総研第5号業務）
- 2008年より実施し、**現在19期目**
- **博士号を持つ若手研究者**や**大学院生**を対象として、社会の様々な課題に挑戦し、**イノベーションを起こす能力を持つ研究人材を育成するコース**を開講

専門領域での高度な科学的・技術的知見

産総研イノベーションスクール【育成のポイント】

AIST Innovation School

- **分野を超えた視野の拡大、産業界・社会の理解促進**
- **異分野間でのコミュニケーション能力・連携力向上**
- **企業での研究開発の実践**（長期企業研修：ポスドクのみ）
- **異なる分野・異なる大学の学生とのネットワーク形成**

研究人材として社会で必要とされる汎用的な能力を育成

企業をはじめ、広く社会の重要な場で**即戦力として活躍できる研究人材**へ

大学院生向け研究基礎力育成コースの概要

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

全ての講義・演習をオンライン形式で実施

4～8月 公募 → 9月 合否連絡 → 10月 開講 → 講義・演習（約10日間） → 2月 成果発表会 → 成長報告会 → 3月 理事長最終講義 修了式

講義・演習
（10日間程度）

AIST Innovation School

イノベーションスクール
産総研の技術研修生
として受入れ

半年間のカリキュラム

産総研での研究
（希望者のみ）

他、ポスドク生、修了生とのオンライン交流イベント等

自立した研究人材を目指す

人的ネットワーク形成

イノベーションスクール採用実績

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

2008～2018年度	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度	'25年度
1期 ～12期生 320名	13期生 16名	14期生 15名	15期生 14名	16期生 12名	17期生 16名	18期生 11名	19期生 8名
イノベーション人材育成コース（ポスドク）							
175名	29名	23名	35名	45名	31名	83名	募集中
研究基礎力育成コース（大学院生）							

累計

イノベーション人材育成コース
404名

研究基礎力育成コース
421名

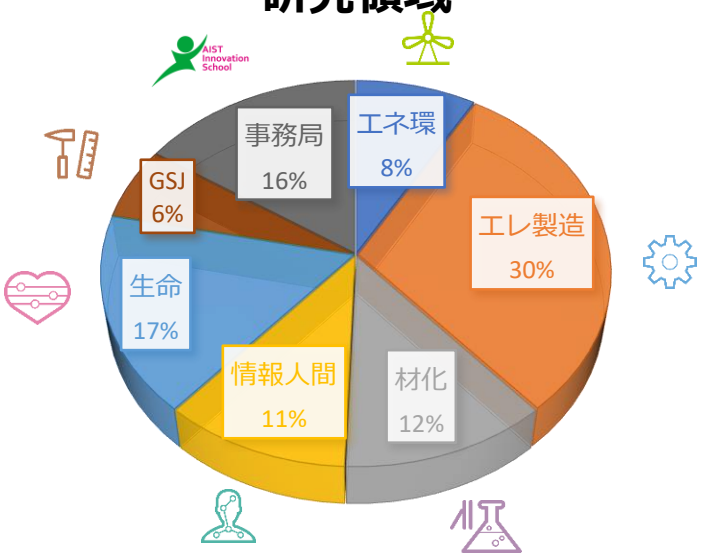
計825名が入校、同窓会にて縦のつながりも

同窓会
桜翔クラブ

2024年度 研究基礎力育成コース 入校者（計83名）

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

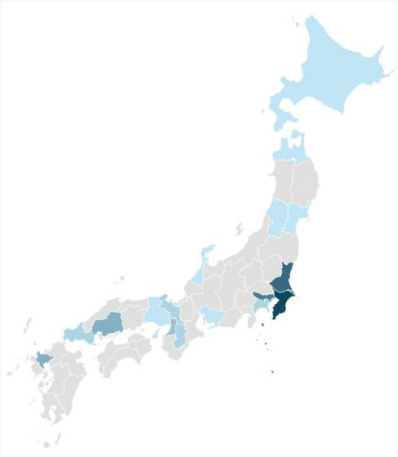
研究領域



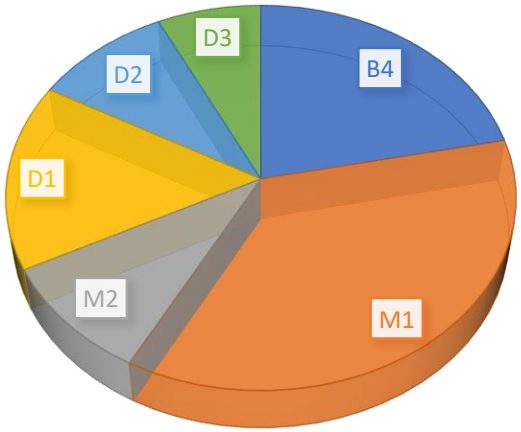
所属大学

全国の計35大学から参加

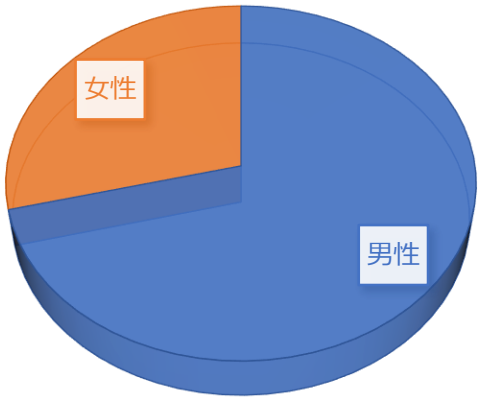
人数順
1: 東京理科大学 10名
2: 千葉工業大学 9名
3: 筑波大学 8名
4: 東京大学 6名
5: 早稲田大学 5名



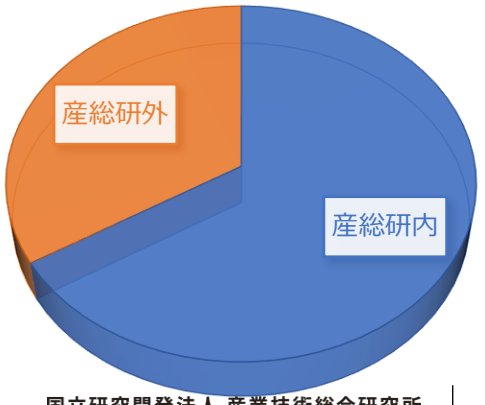
学年



性別



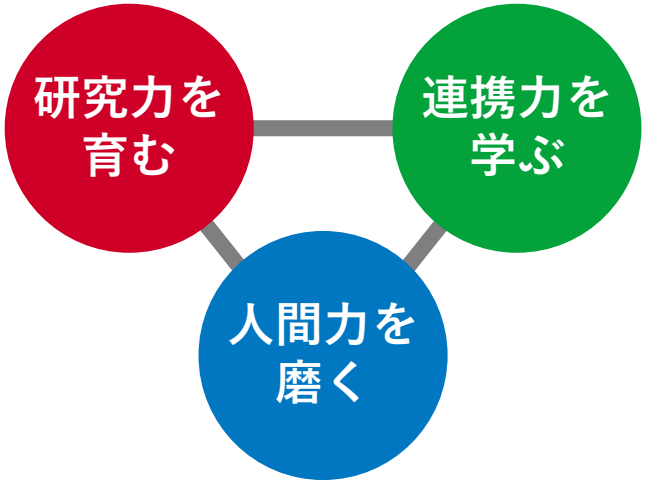
産総研内外



講義・演習

・オンライン形式で実施（翻訳字幕付きZoom利用）
・「研究力」、「連携力」、「人間力」の3つの力を醸成する講義演習

3つの力を学び育てる



オンライン講義における参加者の様子

2024年度の例

ガイダンス・開講式	ガイダンス・開講式
交流	自己紹介 講義・演習振り返り スクール生交流イベント 先輩との交流会
キャリア開発	大学院生のキャリアデザイン 社会で求められる力 企業・業界を知るために
コミュニケーション	マナー・コミュニケーション研修 コーチングとその活用法
産総研紹介	スクール長講義 産総研の採用・各領域の研究紹介 産総研の先端研究紹介
研究	プレゼン塾 研究論文とは何か 研究費を獲得するということ 考える力の鍛え方 Nature関連誌に投稿する際の論文作成法 知財研修 研究者倫理 研究とスタートアップ起業
プロジェクト立案	社会課題解決と研究テーマの共通価値

外部成果発表会
SATテクノロジー・ショーケース

概要　つくばサイエンス・アカデミー（江崎玲於奈会長）が主催する**異分野交流会**

参加者

イノベーション人材育成コース生（PD）
研究基礎力育成コース生（大学院生）

目的

プレゼンテーション能力と
異分野コミュニケーションの能力の向上

形式

つくば国際会議場での対面形式

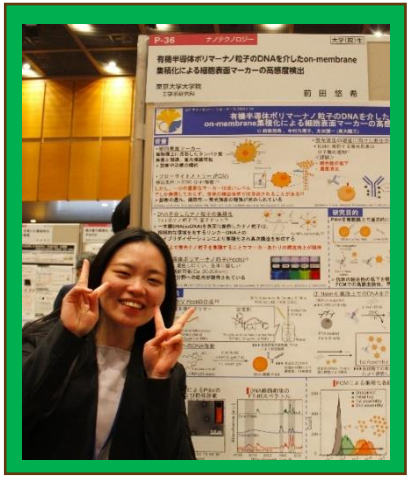
最近のプレゼンテーション賞受賞者数

18期（2025）4名	17期（2023）5名
16期（2022）2名	14期（2021）7名
13期（2020）6名	12期（2019）5名
11期(2018）3名	

※15期は開催形式の直前変更により、プレゼンテーション賞は取り止め

外部成果発表会
SATテクノロジー・ショーケース

2024年度18期生
参加人数計 79名
ＤＣ生70名
ＰＤ生9名



応募条件・参加費・研究費

応募条件	・博士または修士課程の大学院生、大学院進学予定の学部４年生 ・原則として全ての講義・演習及び行事に参加できること。参加できない場合はオンデマンドで講義を受講　（修了にはレポートの提出が必須） ・オンライン講義に対応可能な通信環境を自身で整えることができること ・日本語で実施される講義・演習に対応できる方 英語翻訳字幕付きZoom、英語版講義スライド（一部） （十分な対応でできない可能性があることはご了解ください） を提供し、日本語を話せない方も試行的に採用
参加費・研究費	参加費無料、研究費支援あり

カリキュラム

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

カリキュラム	10 月20日（月）～10月24日（金）	開講式 第1回講義・演習
	11月17日(月)～11月21日(金)	第2回講義・演習
	2026年1月下旬	外部研究成果発表会 （SATテクノロジーショーケース）
	2026年2月上旬	成長報告会
	2026年3月上旬	• 理事長最終講義 • 修了式
	2025年10月1日～2026年3月31日 （研究実施者のみ）	受入れ研究者との研究

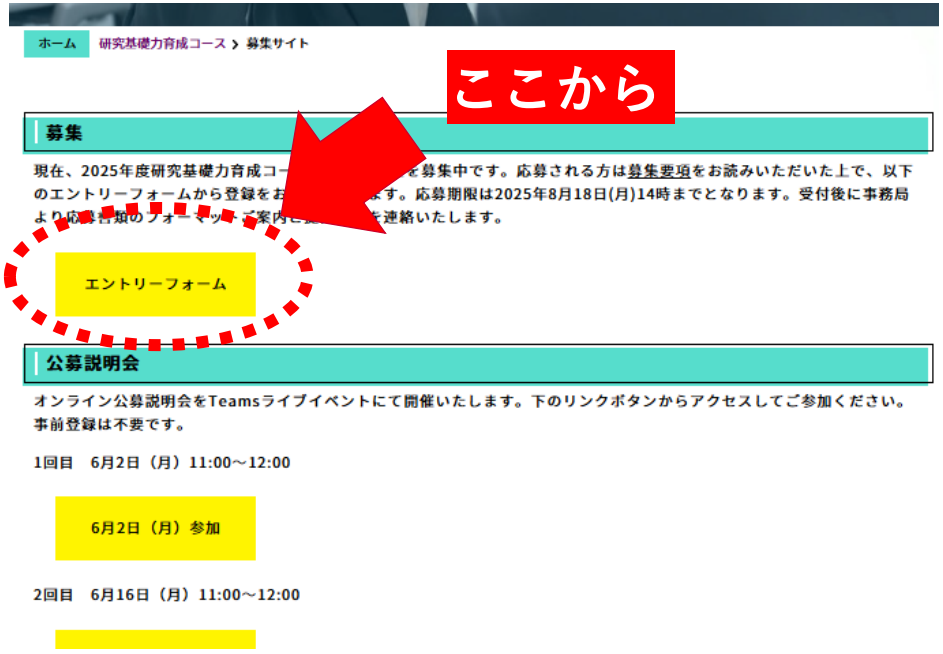
応募方法

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

エントリーサイトからご応募ください：
https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html

エントリーサイト

エントリー〆切：8月18日（月）14:00 厳守
＊産総研受入責任者が決まっていない方は、7月28 日までにエントリーをお願いします。



産総研受入れ研究者の探し方

受入研究者が決まっていない方は、次のサイトもご利用ください。

産総研：研究成果記事一覧のサイトで、研究内容、研究者を調べられます。

https://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html

研究成果記事一覧

産総研受入責任者が決まっていない場合は事務局が産総研研究者とのマッチング支援、もしくは受入責任者となることも可能です。

＊マッチングは必ずしも成立しない場合がありますので、ご了承ください。

→講義演習のみの受講者は事務局受入れで対応します（講義演習のみ）

応募・審査の流れ

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

①エントリー（Formsから応募）

8/18 14時〆切

↓

②１次書類提出

8/25 14時〆切

＜１次書類審査で必要な書類＞
① 履歴書（Word で提出）
② 居住性等に関する確認書 (PDF で提出)
③ 自己アピール票（Word で提出）
④ 所属大学の指導教員の承諾書(PDF で提出)

↓

③２次書類提出

8/25 14時〆切

＜２次書類審査で必要な書類＞
⑤ 技術研修申請書[3](産総研で研究を希望しない方のみ)
⑥ 産総研受入責任者の承諾書[4](PDF で提出)
⑦ 誓約書(PDF で提出)
⑧ 肖像、個人情報及び著作物使用同意書(PDF で提出)

↓

合否通知

9月上旬予定

↓

技術研修申請手続き

合格通知後、受け入れ責任者が実施

詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください

公式ウェブサイト

産総研イノベーションスクール　検索

応募サイト

お問い合わせは
イノベーションスクール事務局
school-saiyou-ml@aist.go.jp まで

産総研イノベーションスクール
大学院生向け「研究基礎力育成コース」公募説明会
ご参加頂きありがとうございました

ご質問がございましたら

手を挙げる、もしくはチャット

にご記入ください

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーションスクール事務局 [school-saiyou-ml@aist.go.jp]